



林業福島

No. **641**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

1

2018

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 里山の手入れ



挑戦を続け、未来を切り拓く

福島県知事
内堀 雅 雄

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

震災から間もなく七年を迎えようとしております。

県民の皆様のため御努力と国内外からの温かく力強い御支援により、インフラの復旧や新たな拠点施設の整備進展を始め、観光地におけるにぎわいの回復など、これまでの取組の成果が着実に形となって現れてまいりました。

また、避難指示が解除された地域での伝統行事や祭りの復活、若者や子どもたちの文化・スポーツ両面における活躍、全国新酒鑑評会での金賞受賞数五年連続日本一の快挙など、「福島誇り」を取り戻す明るい話題も増えてまいりました。

一方で、今もなお、五万人を超える方々が避難を続けているほか、避難地域の再生や被災者の生活再建、廃炉・汚染水対策、風評・風化の問題など、前例のない課題が山積しております。

県といたしましては、引き続き直面する課題に一つ一つ挑戦を続けながら、「新生ふくしま」の実現に向け、着実に取組を進めてまいります。

避難地域の復興再生につきましては、復興の基盤となる交通インフラの整備を始め、古里に帰還された方々の生業の再生と新産業の創出、心のケアや医療・介護提供体制の構築など、被災者に寄り添った支援をしっかりと進めてまいります。

また、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、浪江町に整備する世界最大規模の水素製造拠点で作られた水素を活用することを働き掛けるなど、復興五輪のシンボルとなるよう、関係機関と一丸となって取組を進めてまいります。

地方創生・人口減少対策につきましては、本県は原発事故の問題も抱えており、人口減少は極めて厳しい状況にあります。そのため、結婚・出産・子育てに対する切れ目のない支援を充実させるとともに、若者の地元定着や首都圏等からの還流、働きやすい環境づくりもしっかりと進めるほか、定住・二地域居住や健康長寿に向けた取組など、市町村と緊密に連携しながら重点的に取り組んでまいります。

美しい自然、特色ある歴史や伝統文化、豊かな食などの本県の持つ様々な魅力をいかし、そして古里への熱い思いを抱き、「何としても福島を復興させたい」と懸命に努力を続ける方々と力を合わせ、挑戦を続けながら、福島の明るい未来を切り拓いてまいりますので、今後とも一層の御支援、御協力をお願い申し上げます、新年の御挨拶といたします。

《も く じ》

とびら

| | |
|--|-----|
| 挑戦を続け、未来を切り拓く 福島県知事 内堀 雅 雄…… | 1 |
| 第69回全国植樹祭までの カウントダウンが始まりました…… | 2 |
| 新春特集 第69回全国植樹祭への思い…… | 3～4 |
| 「第47回全国林業後継者大会福島大会2018in いわき」の実施計画を決定しました…… | 5 |

新春特集

| | |
|----------------------|----|
| 第47回全国林業後継者大会への思い…… | 6 |
| 「全国植樹祭支援の森」で植樹活動を実施… | 7 |
| 普及指導員通信…… | 8 |
| 森林管理署メモ…… | 9 |
| 公社だより…… | 10 |
| 「自然に親しむ」…… | 11 |
| 木材市況・ふくしま東西南北…… | 12 |
| はなしのひろば・お知らせコーナー…… | 13 |

第69回 全国植樹祭 2018 福島

育てよう 希望の森を いのちの森を



郡山駅



南相馬市役所 (写真提供 南相馬市)

第六十九回全国植樹祭まで残り二〇〇日の節目となる平成二九年十一月二二日(水)に、カウントダウンスタートセレモニーを郡山駅で開催し、全国植樹祭までの残り日数を表示するカウントダウンボードを設置しました。

カウントダウンボードは、郡山駅のほか、県内の主要駅(福島駅、新白河駅、会津若松駅、いわき駅、会津田島駅)及びサテライト会場となるフォレストパークあだたらにも設置しています。

また、南相馬市役所には、小高産業技術高等学校の生徒が作製したものが設置されていますので、是非ご覧ください。

第六十九回全国植樹祭までのカウントダウンが始まりました

第六十九回全国植樹祭福島県実行委員会事務局
(福島県農林水産部全国植樹祭推進室内)

■お手植え樹種 (3種)

| | | | |
|------|------------------------|--------------------------|------------------------------------|
| 天皇陛下 | クロマツ 海岸防災林の基本樹種 | ケヤキ 福島県と大会開催地南相馬市の「木」 | スダジイ 浜通り地方の常緑広葉樹を代表する樹種 |
| | | | |
| 皇后陛下 | アカマツ 県民に広く親しまれている樹種 | ヤマザクラ 県民に広く親しまれている樹種 | ヤブツバキ 浜通り地方沿岸部に見られる常緑広葉樹の代表的な樹種 |
| | | | |

■お手播き樹種 (2種)

| | | |
|------|----------------------------|--------------------------------|
| 天皇陛下 | 津島マツ 第21回大会のお手植え、お手播き樹種 | 飯豊スギ 第21回大会のお手播き樹種 |
| | | |
| 皇后陛下 | ベニシダレ 県民に広く親しまれている樹種 | マルバシャリンバイ 東日本大震災被災地の復興のシンボル |
| | | |

全国植樹祭当日に天皇皇后両陛下にお手植え(苗を植えていただくこと)、お手播き(種を播いていただくこと)を賜る樹種を紹介します。

福島県にゆかりがあり、広く親しまれている樹種を選定しました。

お手植え樹種・お手播き樹種紹介

新春特集

第69回全国植樹祭への思い

第二一回全国植樹祭の思い出

緑川平寿

第六九回全国植樹祭が、平成三〇年六月十日南相馬市の海岸防災林を会場に開催されることは、福島県民にとつてこの上ない喜びであります。

福島県での全国植樹祭は二回目であり、一回目は昭和四五年五月十九日猪苗代町天鏡台にて第二一回全国植樹祭が「後継者の森づくり」をテーマに、昭和天皇、皇后両陛下をお迎えし開催されました。

当日は素晴らしい五月晴れのもと、猪苗代湖を望む天鏡台で二三、〇〇〇人と過去最大の参加者の中、厳肅のうちに式典が進んでいったことが記憶としてよみがえります。

天皇陛下のお言葉のあと、後継者八名の介添を受け、両陛下は赤松の苗木を森の字のように三本ずつ植栽なされました。そのあと、私は全国の林業後継者代表として、両陛下に向かい「緑の国土を築くことは国民共

通の願いであり……林業後継者としての自覚と認識を更に深め、前進することを誓います。」と決意表明をしました。私にとつては一生に一度の大舞台でありました。

決意表明で誓った「緑の国づくり」このことが、私の林業人生を大きく変えるきっかけになりました。

そして、四八年ぶりに福島県で開催される全国植樹祭に参加できることは、この上ない喜びでありますと共に、これを契機に更に決意を新たにしているところでもあります。県民が一丸となり全国植樹祭を成功させましょう。



全国植樹祭に寄せて

林業女子会@福島

代表 鈴木美也子

今回の寄稿にあたり、『全国植樹祭六〇周年記念写真集』で全国植樹祭の歴史を振り返つてみました。全国植樹祭は緑豊かな国土を守り育てることが一貫したテーマとなつてい



信夫山清掃登山

る、とわかります。昨年立ち上げた林業女子会@福島の理念の一つは「福島

の山を美しく後世に遺す」なのですが、まさに想いは共通

していると感じ、嬉しくなりました。女子会の活動は、信

夫山清掃登山から本格的に始動しました。その後、酔素浴

体験や巨木巡り、登山道整備などを月一回のペースで行つてきました。メンバーの発案

で「ふくしま緑の百景」を巡つてはどうかというので調べてみたら、共に二本松市の

杉沢の大杉、東禅寺の夫婦杉、とそれまで訪れたところがちやんと入つていてまたま

た嬉しくなりました。

昨年、林業祭の「担い手の主張」に参加させていただいたことで、県内の熱い思いを抱いている方々に出逢えて大いに励まされました。

様々な経験を経て辿り着いた林業。私には山をたくさん歩いて一日中山にいられることが何よりも楽しく幸せなことです。私は新緑が一番好き

ですが、深緑も大好き。緑が私のパワーの源です。山の美しい緑が悩める私を元気に強くしてくれました。

愛すべき故郷、福島

の豊かな緑を後世に遺すべく、私の天職である林業に邁進したいと思つています。

親しまれる防災林に

双葉グリーン土木株式会社

代表取締役 室原 泰仁

震災前、私たちが住む相双地区の海岸線沿いには、松林が整然と立ち並んでいました。公園やキャンプ場が整備され、海と一体となったその様子は、小さいころから慣れ親しんだ風景でした。

しかし、二〇一一年三月十一日、東日本大震災により発生した津波が、当たり前のよう存在していたその景色を、丸ごと飲み込んでいき



ました。後に残った荒涼と広がる景色を思うと、今でも例えようのない感情が込み上げてきます。

あれから六年十カ月。復興は着実に進み、海岸線には防災林が整備されています。海岸防災林は、本来の目的である潮害・飛砂・風害の防備に加え、減災など地域生活保全の役割も期待されます。しかし一方で、これまで一般の方には身近に感じることができない存在でした。

そのような折、第六九回全国植樹祭福島県実行委員会による森林活動への参加の機会をいただき、従業員をはじめ、子供達を含めたその家族とともに、植樹活動に参加しました。

このことは、普段関わるることのできない人たちにとっても、海岸防災林の役割を理解するよい機会となりました。参加した皆様が楽しそうに作業する姿を見て、もつと多くの方々に体験してもらいたいと強く感じました。

いよいよ今年六月十日、南相馬市において第六九回全国植樹祭が開催されます。壊滅的な被害を受けた浜通り地区が、復興・再生に向けて着実に進んでいる姿を多くの方々に見ていただきたいです。さらには、防災林の役割や必要性について理解を深め、「親しまれる防災林」となることを切に願っております。

「笑顔の輪」が広がるように

会津若松市立川南小学校

五年 藤原 遥風

私達川南小『ホテルの里』緑の少年団では、地域に『笑顔の輪』が広がるように様々な取り組みをしています。学校のシンボルでもあるカナの花を中心に学校花壇づくりをしたり、みんなで育てたプランターの花を地域にある公共の施設にプレゼントしたり、障害者施設の方々とお米やさつまいも、ラベンダーの栽培を一緒に行ったりしています。



そのような様々な取り組みの中でも、私達五年生が特に力を入れてきた活動が「森林環境学習」です。学校の裏の敷地には、「ドングリ林」があり、毎年クヌギの実がたくさんあります。私達はこのクヌギの実をポットに植え、クヌギの苗木作りにも取り組んでいます。また、十一月には、先輩達が大切に育ててきた苗木を、山に行って植樹したり、苗木の雪囲いをしたりしました。さらに、このクヌギの実を全校生で拾い集め、北会津で保護されている熊に贈る活動も行いました。えさとなるドングリがなかなか手に入らず、困っているようで、とても喜んでいただきました。森林の役割を知り、私達はどう関わっていくかを考える「森林環境学習」は未来につながるとても大切な学びだと思えます。来年少年行われる第六九回植樹祭に向け、自分たちの活動をもつと多くの方々に向けてもらい、自然の大切に目を向けてくれる人がたくさん増えてくれるとうれしいです。

「第47回全国林業後継者大会2018福島大会inいわき」の 実施計画を決定しました

第47回全国林業後継者大会福島県実行委員会事務局 (福島県林業振興課内)

平成30年6月9日(土)に「第47回全国林業後継者大会」がいわき市で開催されます。去る平成29年11月30日に開催した第3回実行委員会において、大会会場、大会プログラム等を盛り込んだ実施計画を決定しました。

大会のメインとなる活動発表とトークセッションは、次の5項目で構成されています。

① 鼎談等「先輩方からの発表」

昭和45年に猪苗代町で行われた全国植樹祭及び後継者大会の嚆矢となった全国林業後継者のつどいの参加者を招き、現在までの林業の姿を振り返るとともに、林業後継者への期待を発表します。

② 活動発表「現役世代からの発表」

会津・中通り・浜通りそれぞれの地域で現在林業に従事する世代の優良な活動事例や森林づくりの取組を発表します。

③ パネルディスカッション

先輩世代、現役世代により、これからの福島県の林業についてパネルディスカッションを行います。

④ アトラクション「にな☆コレ2018」(林業担い手コレクション)

防護服や作業服などを着た若手作業員が会場を颯爽と歩いて林業をPRします。

⑤ 活動発表「次世代からの発表」

大学生、高校生、中学生のそれぞれの世代から、現在の林業とこれからの林業に対する思いや、自らが行う活動について発表します。

詳細については、福島県林業振興課のホームページを御覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/47rinkoukeisya/>

開催テーマである「未来へと つなげる心 森林づくり」を念頭に、「先輩世代」「現役世代」「次世代」それぞれによる発表と、これからの福島県の林業について意見を交わすパネルディスカッションでは、過去から現在へとつながった林業後継者の思いをさらに未来へと発信することとしています。

また、林業の現状や林業後継者の思いを広く知っていただくため、1月上旬より一般参加者の募集を行うこととしています。

福島県での新たな取組となる「にな☆コレ2018」では、林業の格好よさ、魅力を感じていただけるものとなるよう準備を進めていますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。

第47回全国林業後継者大会 2018福島大会 in いわき

～未来へとつなげる心 森林づくり～

全国林業後継者大会概要

- 1 日時 平成30年6月9日(土) 13時30分から16時30分(受付開始12時30分)
- 2 会場 いわき芸術文化交流館アリオス 大ホール(福島県いわき市平字三崎1番地の6)
- 3 プログラム
 - (1) オープニングプログラム オープニング映像「復興に向かう ふくしまの森林林業」(仮称)
 - (2) 開会式典
 - (3) 活動発表とトークセッション
 - ① 鼎談等「先輩方からの発表」
 - ② 活動発表「現役世代からの発表」
 - ③ パネルディスカッション
 - ④ 休憩&アトラクション「にな☆コレ2018」(林業担い手コレクション2018)
 - ⑤ 活動発表「次世代からの発表」
 - (4) 閉会式典

その他

- 平成30年1月上旬より一般参加者を募集する予定です(100名程度)。
- アリオス内では、地域の物産品や林業関係機械器具等の販売を計画しています。
- アリオス外の平中央公園では、飲食物の販売、大型物の展示を計画しています。また、同日にいわき市による「トマトフェス」の開催を検討しています。

新春特集 第47回全国林業後継者大会への思い

第四七回全国林業後継者大会 福島県実行委員会 会長 豊田新一

全国の林業後継者との交流が楽しみ

水野林業 水野廣人

平成三〇年六月九日は、第四七回全国林業後継者大会がいわきで開催される日となります。我々、地元いわき市のみならず、福島県全体の関係者が、その日を心待ちにしていることでしょう。さて、本大会では、後継者へ「つなげること」を三つ掲げておられます。「豊かな森林を未来に」「森林を守る心を後世に」「森林を活かす技術を次世代に」。前回、本県で開催された「つどい」の際とは、林業を取り巻く様々な状況は大きく変わり、今もその変容は私たちをゆさぶり、これからも想像もつかないような自然や経済などの変化があり続けることでしょう。今、私は、「何を」「どのように」「どれだけ」後継者へと受け渡せることができるかを、実行委員長としての重責を意識しながら、自らを振り返っています。このことこそ、本大会のテーマに顕れている「未来へとつなげる心」なのだと思っています。



森林・林業体験学習会

このことと想います。いわば、福島県発の取組が、全国各地で受け継がれ、再び我々のもとに帰ってきたとも言えるでしょう。このような折、私が、実行委員会長として、本大会の成功のために力を尽くすことができる機会を得られたことは、身に余る光栄であるとともに、身の引き締まる思いです。これまでの林業関係者をはじめとした多くの方々の協力に感謝しながら、引き続き、これからも本大会の成功に向けた取り組みへの力添えをお願いいたします。

この度全国林業後継者大会に参加できること、とても光栄に思います。私は約五年前に実家に戻り家業である林業をはじめました。それまでは、東京で全く違う仕事をしていました。幼いころから祖父や父に連れられて山に入り、手伝いをしていたのですが、林業という仕事に全く興味がもてませんでした。そんな私が家業を継ぐきっかけになったのは平成二三年に発生した東日本大震災でした。福島県が苦境に立っているのに、福島人としてこのまま東京にいていいのか。何か古里に対してできることはないかと考え林業を継ぐ決心をしました。林業には多くの課題があります。「きつい、汚い、危険」の3Kイメージ。また昔に比べ木材の取引価格が低迷しています。それが林業の現実だと理解し、少しでも林業のイメージを変えたいと思っています。高性能な林業機械や防護服を



取り入れて効率的かつ安全な林業を目指しています。しかし、一番大事なのは木を使うことだと思っています。もつと色々な方々と連携することにより良い商品が生まれ、私たちの生活の中で木が使われると思っています。そして、また山に木を植え、大事に育て、次の世代のためにも価値あるものとして繋げていきたいと思っています。全国林業後継者大会を通して全国の方々に震災の影響で落ち込んだ中でも希望を持って取り組んでいることを伝えたいです。そして意見を交わし合い自分自身の成長に繋がりたいと思っています。



全員で記念撮影

植樹式では、主催者である福島県林業会議齋藤卓夫会長の挨拶、来賓として県知事代理の福島県森林計画課飯沼隆宏課長の祝辞に続き、代表者記念植樹及び標示板設置を行いました。福島県林業会議では、植樹する会場を「希望といのちの森」



標示板の設置



森林とのきずなづくり植樹リレー



植樹活動

「全国植樹祭支援の森」で 植樹活動を実施 福島県林業会議

福島県林業会議（県内林業関係十団体で構成）は、本年六月十日（日）

に開催される第六九回全国植樹祭を率先して推進するため、十月二八日（土）、南相馬市原町区雫地内の「全国植樹祭支援の森」で、福島県森林組合長会議及び相馬地方森林組合と合同で植樹活動を実施しました。

当日は、台風二一号の影響が心配されましたが、参加者の全国植樹祭に対する熱い思いが通じ、暑くもなく、寒くもなく、しかも風もない植樹日和に恵まれ、参加した八三名は、抵抗性クロマツ一、二〇〇本を心を込めて丁寧に植樹しました。

と名付け、標示板に記名しました。これは、第六九回全国植樹祭の大会テーマである「育てよう 希望の森を いのちの森を」からとったもので、全国植樹祭の感動が末永く伝えられるとともに、県民参加のもと森林づくり活動がますます盛んになることを祈念したものです。続いて、「森林とのきずなづくり植樹リレー」を行いました。バトンは、ベトナムから有限会社上原樹苗へ実習に來ているグエン・ティ・キム・チさんに、ピンは、団体職員のご子息の田中千尋さんに行っていただきました。お二人とも初めての経験で、照れながらもしっかりと植樹リレーを行いました。

福島県林業会議では、今回植樹した苗木が健やかに生育し、海岸防災林の再生に大きく寄与するとともに、第六九回全国植樹祭が県民参加のもと盛大に開催されるよう取り組んでまいります。

県北地方における 栽培わらびに関する取組について

福島県県北農林事務所
林業普及指導員 二瓶 郁子

東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故から間もなく7年。野菜や果物といった農産物の出荷制限は解除が進みましたが、山菜は出荷制限が続いている品目が依然として数多くあります。県北地方のわらびを例にとると、福島市と二本松市は野生ものに、伊達市と川俣町は栽培・野生共に出荷制限が継続されています。今回は、制限解除に向けた取組等を進めている栽培わらびについて報告します。

かつては栽培・野生共に出荷が制限されていた福島市ですが、平成26年に栽培わらびの出荷制限の解除に向け、生産者のリストを作成しました。市の職員と普及指導員が連携し、45名の生産者のほ場や栽培状況の確認、わらびの放射性物質検査等に取り組んだ結果、平成28年6月24日に、福島市から産出される栽培わらびについて出荷制限が解除となりました。平成29年の春に、初出荷され店頭に並ぶ栽培わらびを目にしたたり、知人等が出荷可能となったことを知った生産者からは、自分も出荷したいがどうすればよいか、との問い合わせが寄せられました。このような生産者に対して、当事務所では、ほ場の確認や放射性物質検査を行い、安全な栽培わらびを出荷するための指導をしています。

また、二本松市の東和地区では、中山間遊休農地対策として栽培わらびの生産を進めようと「栽培わらび研究会」が発足しました。2年前からポット苗を用いた栽培を行っており、ポット苗の栽培や移植に関する技術指導を安達農業普及所が、ほ場の状況確認や出荷までの流れの説明、土壌やわらびの検査を森林林業部の普及指導員が担当し、連携して指導を行っています。平成30年の春には、栽培わらびが出荷できる会員が出てくる見込みです。

伊達市においても、栽培わらびの出荷制限解除に向け、出荷を希望する生産者の調査を開始したところであり、今後、市と当事務所の普及指導員が連携し、申し出のあった生産者のほ場や栽培状況の確認、栽培わらびの検査等を進めていく予定です。

山菜が出荷できるのは、1年のうち、本当に短い期間です。「早く出荷したい。」という生産者の皆様の希望に添いきれず、歯がゆいところもありますが、安全・安心な美味しい栽培わらびを消費者に届けることができるよう、引き続き生産者や流通業者等への指導を続け、特産林産物の生産振興を図っていききたいと思います。



二本松市東和地区におけるポット苗のわらびの栽培状況



ポット苗をほ場に移植したわらびの生育状況確認

森林管理署メモ

低コスト造林に向けた現地検討会を開催しました



現地検討会の様子

日本の森林は、先人たちの手で植え育てられてきた人工林の半数以上が主伐の時期を迎え、資源を有効利用するための伐採が進められていま

す。しかし、次世代の森林づくりのために欠かせない再造林は、木材価格の低迷や育林にかかる費用が大きいためことから放棄されることも危惧されています。

この検討会は関東森林管理局が重点的に取り組んでいる「林業の低コスト化の普及と定着」について紹介し、意見交換することを目的に、平成二九年九月二八日（木）田村市都路町の国有林において、福島森林管理署と阿武隈川流域林業活性化センターが共催で開催しました。当日は阿武隈川流域の林業関係者などが集まり、それぞれの立場から意見や感想が出されています。

現場でいただいた意見等を参考に、これからも流域内の林業関係者と連携をとりながら、林



みどりの女神 野中葵さんの実演

業の低コスト化、林業の活性化に取り組んでいきます。

また、当日は「みどりと木への親しみを広める農林水産省のみどりの広報大使」である「ミス日本みどりの女神」野中葵さんが一日福島森林管理署長として、関東森林管理局の取り組みを紹介するとともに、田村森林組合のご協力のもと、高性能林業機械の運転を披露し、検討会に花を添えられています。

【関東森林管理局の取り組み】

○一貫作業システム

立木の伐採とその後の植栽は従来、別々の仕事として行ってきましたが、伐採で使った高性能林業機械を植栽の準備（地搾え）や苗木の運搬などに活用し、伐採から植栽までの作業を連動して行うことで、作業の省力化・効率化を図っています。

○植栽本数の見直し

今までの国有林ではスギやヒノキを一鈴に三、〇〇〇本植えてきましたが、土地の生産力をみながら一鈴に二、〇〇〇本植えることとしています。また、

コンテナ苗の使用で作業の効率化を図るとともに、花粉の量が一般のスギに比べ一割以下の品種として開発されてきた少花粉スギを植栽し、国民病とも言われる花粉症の対策にも取り組んでいます。

○下刈りの省力化

植栽したスギの苗が雑草木に負けないように五年間の下刈りを基準としてきましたが、スギの先端に雑草が覆い被さらない限り大きく成長が低下しないことから、状況に応じて成長が良好な箇所は、下刈りを省略することとしています。

団体のページ

公社だより

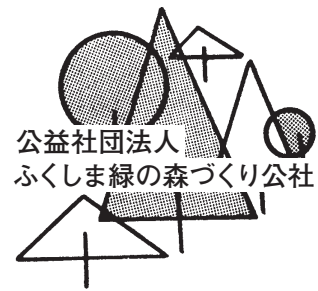
低コスト化等の
効果が高い
「列状間伐」の試行

列状間伐は、本数密度の高い若齢林における選木の省略化、高性能林業機械を活用した集材の効率化、まとまりのある森林における低コスト化等の効果が高いと言われており、本県においても国有林や森林整備センター・福島水源林整備事務所を中心に、実施箇所が広がっています。

このため、当公社では、今年度の発注事業地において平成二九年十月二日（月）、列状間伐事業実施検討会を開催しました。（事業概要 耶麻郡猪苗代町地内 スギ間伐四・九畝、事業期間 平成二九年八月～十二月）

当公社の列状間伐は、平成二一年度と同町内のカラマツの造林地で実施して以来、二度目となります。

実施した森林は、昭和六一年にスギを植栽し、過去二回（平成十三年、平成二二年）、保育間伐を実施し、



現在の平均直径が二センチ程度程度の生育良好な森林です。また、造林地の一部が林道に隣接し、搬出が容易である上に、山土場の確保も可能な所です。さらに、傾斜度が全体的に十



ハーベスタでの伐倒・玉切り

度未満の緩傾斜地であることから、高性能林業機械の活用が容易であり、列状間伐に適した林分です。間伐率は三〇割（三残一伐、及び残置森林の定性間伐）とし、伐倒や枝払い、玉切りはハーベスタを基本に行いました。

今回の事業では、ハーベスタの作業工程も確認することとしており、この事例を、緩傾斜地における高性能林業機械を用いた低コスト施業への足掛かりとしたいと考えています。結びに、今回の検討会に協力をいただいた受注者の(有)六和林業様に改めて感謝申し上げます。



フォワーダへの積み込み



フォワーダでの搬出



列状に間伐された林分

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 34 |

志茂の大スギ

樹木医 鈴木俊行



大スギが生育するこの地は、長暦元年（一〇三七年）長沼維忠が館を築き岩瀬地方を治めていた。その子孫の隆時が文応元年（一二六〇年）日高見山に新城を築き、白河の結城氏等との激戦の場所となった地であるとい

「志茂の大スギ」は、須賀川市志茂字桜堂地内に生育している。志茂は旧長沼町にあり、旧役場から東へ約二・五^{キロメートル}の場所にある。また、東北自動車道須賀川ICから国道一八号を西へ約一〇^{キロメートル}、岩瀬広域農道との交差点を北へ約五〇〇^{メートル}、さらに集落の小道を西へ約五〇〇^{メートル}入った所にある。生育地の地形は、道路沿いの斜面で、根元には多くの石碑と地蔵が立っている。

われている。

本樹にまつわる伝説としては、奈良時代の高僧行基が東北地方に下った際に手植したものといわれ、当時一本杉と呼ばれていたといわれる。また、応永七年（一四〇〇年）足利氏との戦いに敗れ、死に瀕した将兵がこの一本杉の根元に集まり自害して果て、その死者の供養のため土地の人々が根元に地蔵を立てたともいわれ、徳川の時代には奥州の鼻

かけ地蔵と呼ばれた有名な地蔵で、いつ頃からかこの大スギを地蔵杉と呼ぶようになったと言ひ伝えられている。推定樹齢は八〇〇年ともいわれ、昭和四三年四月一日に須賀川市指定天然記念物、昭和五八年二月十七日に県緑の文化財に登録されている。

スギ (*Cryptomeria japonica*) は、以前はスギ科に分類されていたが、ヒノキ科スギ亜科スギ属の常緑針葉樹である。日本の固有種で、本州北端から屋久島まで自生する。また北海道各地にも広く造林されている。スギは沢沿いなど比較的水分と栄養分に富む環境を好む傾向があり、植林の際にも谷間はスギ、中腹はヒノキやサワラ、尾根筋はマツと植え分けられる。スギ亜科は中生代に登場した起源の古い植物群

で、現在は日本のスギ、アメリカ大陸のセコイア、中国のメタセコイア、コウヨウザンなどが遺存的に分布している。スギは深根生で、根を深くまで伸ばすことから土砂災害に強い森林づくりに向ましい。

本樹の樹高は二三・五〇^{メートル}、幹周七・五〇^{メートル}、



根元周二七・六〇^{メートル}で大岩を抱え込むように伸びる太い根は圧巻である。枝張りは東八・五〇^{メートル}、西七・五〇^{メートル}、南一一・〇〇^{メートル}、北六・五〇^{メートル}と均整がとれ、東に伸びる太い下枝は見事である。平成十七年夏に雷が落ち、幹の内部から出火し消火に一日かかった。消火に私も立ち会ったが、樹体にあいていた穴という穴から火柱が上がっていたのを忘れられない。その後落雷により頂部が枯れたことから切除処置をし、樹高は低くなったが枯れずに見事に再生している。巨樹のパワーにはいつもながら驚くばかりだ。

大岩の斜面に力強く太根を張り、雷にも動じずどっしりと立つ地蔵杉の迫力に圧倒されるはずだ。



素材の価格〈工場着価格〉(10月15日現在)

(単位: m当り千円)

| 区分 | 形量 | | 材質 | 樹種 | 中通り地方 | | 会津地方 | | 浜通り地方 | | 県平均 | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|------------|------------|-------|------------|------------|------------|------------|------------|---|
| | 径(cm) | 長さ(m) | | | 当月 | 前月差 | 当月 | 前月差 | 当月 | 前月差 | 当月 | 前月差 | |
| 一般用材 | 小 | 5~9 | 4.00 | 並 | スギ | 9 (8~10) | 0 | (0~0) | | 9 (8~9) | 0 | 9 (8~10) | 0 |
| | | 10~14 | | | | 11 (10~12) | 0 | (0~0) | | 11 (11~12) | 0 | 11 (10~12) | 0 |
| | 中 | 14~22 | 3.00 | 並 | スギ | 12 (11~13) | 0 | 11 (11~11) | 0 | 12 (12~13) | 0 | 12 (11~13) | 0 |
| | | | | | ヒノキ | 20 (15~24) | 1 | (0~0) | | 15 (15~15) | 1 | 17 (15~24) | 0 |
| | | | 6.00 | 並 | スギ | 16 (15~17) | 0 | 11 (10~12) | 0 | 16 (15~17) | 1 | 14 (10~17) | 0 |
| | | 並 | | ヒノキ | 29 (24~35) | 0 | (0~0) | | 21 (17~24) | 1 | 25 (17~35) | 0 | |
| | | | | 20~28 | 3.65 | 並 | スギ | 11 (10~12) | 1 | 11 (10~12) | 0 | 12 (12~12) | 1 |
| | | 4.00 | 並 | | 11 (10~13) | 1 | | 11 (11~11) | 0 | 12 (12~12) | 1 | 11 (10~13) | 0 |
| | 4.00 | 並 | アカマツ | | 9 (7~11) | 0 | (0~0) | | 9 (8~9) | △1 | 9 (7~11) | 0 | |
| | 外材 | 30以上 | 10.00 | 並 | 米ツガ | (0~0) | | (0~0) | | 28 (28~28) | 0 | 28 (28~28) | 0 |
| | | | | 並 | 米マツ | (0~0) | | 32 (32~32) | 2 | 29 (28~29) | 0 | 30 (28~32) | 1 |
| | | 28以下 | 4.00 | 並 | エゾマツ | (0~0) | | (0~0) | | 28 (27~28) | 0 | 28 (27~28) | 0 |
| 並 | | | | アカマツ | (0~0) | | (0~0) | | 25 (25~25) | 0 | 25 (25~25) | 0 | |
| パルプ用材 | | | 並 | マツ | 6 (6~6) | 0 | (0~0) | | 5 (5~5) | 0 | 6 (5~6) | 0 | |
| | | | 並 | 広葉樹 | 9 (9~9) | 0 | (0~0) | | 6 (6~6) | 0 | 8 (6~9) | 0 | |

九月の原木市場への入荷状況は、前月比七割増(前年比二割増)の二一、〇六一立方メートルとなっている。販売量は、前月比二割減(前年比九割増)の二〇、六二八立方メートルとなっている。十月の価格は保合いとなっている。

| 区分 | 形量 | | 材質 | 樹種 | 会津共販 | | いわき | |
|------|-------|-------|----|------|------------|-----|-----------|-----|
| | 径(cm) | 長さ(m) | | | 当月 | 前月差 | 当月 | 前月差 |
| 一般用材 | 12以下 | 4.00 | 並 | カラマツ | 7 (6~8) | 0 | 7 (6~9) | 0 |
| | 13~14 | | 並 | カラマツ | 9 (8~9) | 0 | 8 (7~8) | 0 |
| | 16以上 | | 並 | カラマツ | 13 (13~13) | 0 | 10 (9~11) | 0 |

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。
- 2. () 内は各地域の価格幅、() 外は各地域の平均価格を示す。
- 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
- 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

酒蔵を訪れたのは、三年ほど前の晩秋に職場の同僚を誘って一泊二日の小旅行に出かけた時のことだった。当時の職場には宮崎県から派遣職員として一年間福島の地に支援に来てくださった方がおり、福島酒は美味しいと言っては飲み、また宮崎に宅配便で送るなどしてくれていたのである。

そこで、日頃の仕事の慰労も兼ねて醸造元を訪ねる「美味しい福島の日本酒と温泉の旅」を企画したのだった。その時、自身も酒造りの現場を訪ねたのは初めてで、蔵の中を案内され作り方や設備、道具などそのいろはを知ることができ、「日本酒がもつとおいしくなる」という勉強会になった。

ただ、行きがかり上、運転手を志願したことから試飲ができなかったことは悔やまれ、同僚たちが用意されている銘柄を次々と猪口で口に運んでいく様子は呆れるほど美味そうだった。



新酒の季節

県中農林事務所 渡部 恭一

福島県酒造協同組合のホームページによれば、六〇を超える蔵元があり(避難中も含む)、全国新酒鑑評会において金賞受賞数五年連続日本一という快挙は記憶に新しい。自分の生まれ育った町にもいくつもの蔵元があり、どれも美味しく地酒として親しまれている。

郡山には農薬や化学肥料を使わずに作った米だけで造る酒があると知り、さつそく求め飲んでみるとその名のとおり穏やかで軽やかなうまさ印象的だった。

これからは新酒の季節、ぜひ数ある美味しい地元福島の酒を堪能されてはいかがだろうか。



表紙の写真



「里山の手入れ」

第14回ふくしま森林・林業写真
コンクール優秀賞
受賞者 長谷川錦治さん（いわき市）
撮影場所：那倉川、川辺もみじ附近

はなしの ひろば

元日の朝

元日の朝、まずはカーテンを開ける。最初に目に飛び込んでくるのは庭の「赤い南天の実」だ。赤い実は、冬の眠っている庭に小さく灯りをともしているようだ。いつもは、朝からゆっくり庭を眺めることはないが、正月だけは特別である。「新しい一年が始まったこと」を落ち着いて、自分も言い聞かせてみるのだ。

正月や 村の小すみの 梅の花

小林 一茶

の心境である。小林一茶も正月の日にゆっくりと歩きながらふと梅の花を見つけたのだろう。梅の花が一層めでたさを詠んでいるが、南天の赤い実もめでたさではひげをとらない。

かつて、幼い頃、盆と正月は特別な日だった。季節の行事の料理を食べ、靴や洋服など、身につけるものが新しくなつてわくわくしたことを覚えてい。現代の「ものが豊富にある。二四時間営業」の時代とは違い、盆・正月が待ち遠しかったことをふと思ひ出す。

ところで南天は、夏に白い花をつけた後に十一月〜二月頃まで真っ赤な実をつける。あの白い花からは想像できないほど、丸みを帯びた赤だ。南天は、音が「難を転じる」に通じることから、縁起のいい木とされ鬼門や裏鬼門に植えるといいという俗信がある。また、福寿草とセットで「災い転じて福となす」とも言われる。江戸時代にはどの家にも「火災除け」として玄関前に植えられるといて、赤い色にも厄除けの力があると信じられていた。年があらたまつたばかりで寒明けの日にはまだまだ遠いが、元日の庭の静けさの中にも、新しい春意の動きがあることを感じるのである。

（都）

発行人

水戸印刷株式会社
（定価 一〇八円）

編集

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）

お知らせコーナー

花いっぱい県民運動50周年記念 第50回花いっぱいコンクール 受賞者決定

花を愛する心と豊かな情操をはぐくみ“郷土を花と緑で飾ろう”という趣旨のもと、健康で明るい「福島県花いっぱい県民運動」の一環として実施される「第50回花いっぱいコンクール」の受賞者が決定され、平成29年12月12日（火）に表彰式が行われました。

なお、福島県知事賞及び福島県教育長賞を受賞された団体は、次のとおりです。

| | 県北 | 県南 | 会津 | 浜通り |
|---------|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 福島県知事賞 | 福島製鋼株式会社（福島市） | 玉川村立須釜小学校 | 会津若松市立東山小学校 | 南相馬市立原町第二小学校 |
| 福島県教育長賞 | 伊達市立富成小学校 | 玉川村立玉川第一小学校 | 磐梯町立磐梯第一小学校 | 小名浜西五区連絡協議会 |

第32回ふくしま緑の写真コンクール 受賞者決定

緑の大切さを再認識していただくため、「緑の百景」を中心に、豊かな緑を題材とする「第32回ふくしま緑の写真コンクール」の受賞者が決定され、平成29年12月9日（土）に表彰式が行われました。

なお、特選及び金賞の受賞者は、次のとおりです。

| 賞 | 氏名 | 住所 | テーマ |
|----|--------|------|--------|
| 特選 | 田子 保浩 | いわき市 | 森の中 |
| 金賞 | 遠藤 清作 | いわき市 | 緑風たなびく |
| | 黒澤 泰弘 | いわき市 | 束の間の彩り |
| | 門林泰志郎 | いわき市 | パパと二人 |
| | 片桐 勝美 | 喜多方市 | 森と清流 |
| | 宇佐見富士夫 | 須賀川市 | 珍客 |



特選「森の中」

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのタワーヤーダ

TY-U5C タワーヤーダ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

橋梁型エンドレスタイラー方式に対応した
5脚式タワーヤーダ
上行荷・下行荷ともに橋梁型集材が可能

For the future with forest

イワフジ工業株式会社 北関東支店

www.iwafuji.co.jp

(北関東支店) 福島県郡山市八山田5-314
TEL 024-973-5168 FAX 024-973-5168

(本社・工場) 岩手県奥州市水沢区桜屋敷西5-1
TEL 0197-23-3111 FAX 0197-25-3177

(支店) 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州

緑地管理の未来をひらく

レインボー薬品株式会社と住化グリーン株式会社は、非農耕地向け事業のリーディングカンパニーを目指すことを目的とし、平成29年10月1日をもちまして合併いたしました。

お客様の信頼を第一に全力を尽くす所存でございます。

引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月吉日

松くい虫予防薬剤

ヤシマスミバイン乳剤
スミバインMC
マツグリーン液剤2
グリーンガード・NEO

くん蒸剤

ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シート

ハチ退治

ハチノックL (巢処理用スプレー)
ハチノックS (携帯用スプレー)



レインボー薬品株式会社

東京都台東区上野 1-19-10
お問い合わせ TEL. 03(6740)7777
平日 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

チッパシュレッダ



竹もOK!

SR3100

出力 18.4kW (質量1,330kg)

水冷ディーゼル

967634301

¥3,580,000(税抜)

ハンマナイフモア



ZHM1550

出力 27.5kW (質量1600kg)

967081901

¥5,860,000(税抜)



ZHM800

出力 7.4kW (質量230kg)

967088901

¥748,000(税抜)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1